

= 目 次 =

1. 重大事故情報 = 10件 (8月19日～8月25日分)
 - (1) 乗合バスの車内事故
 - (2) 乗合バスの車両火災事故
 - (3) 貸切バスの車両火災事故
 - (4) 貸切バスが大型トレーラに追突した事故
 - (5) タクシー運転者が傷害を受けた事件
 - (6) タクシーがオートバイと衝突した事故
 - (7) タクシーが原付バイクと衝突した事故
 - (8) トラック運転者を救護義務違反の疑いで逮捕1
 - (9) トラック運転者を救護義務違反の疑いで逮捕2
 - (10) タンクローリーが停車中の乗用車に追突した事故

【1. 重大事故情報 = 10件】(8月19日～8月25日分)

(1) 乗合バスの車内事故

8月19日午前8時10分頃、兵庫県において、乗合バスが道なりに右折した際、道路中央に歩行者を発見したため、急ブレーキをかけたところ、次のバス停で降車するため席を立とうとしていた左最前列の乗客(女性81才)が転倒した。

この事故により、転倒した乗客は、料金箱で腹部を打ち肝臓破裂の重傷を負った。

なお、事故現場はバス停の手前約180m。

(2) 乗合バスの車両火災事故

8月22日午前11時55分頃、千葉県において、乗合バスが営業所に向け回送運行中、営業所に到着する約500m手前で、当該バスの運転者が車内に煙が充満しているのに気付いたため、営業所に到着後、当該バスの運転者が当該バスの車両後部にあるエンジンルームを確認したところ、エンジンルーム上部に炎が見えたため、当該営業所の係員等とともに消火器にて消火作業を行い鎮火した。

この事故により、当該バスの車両後部のエンジンルーム内にある電気系統の配線の一部を焼損した。

(3) 貸切バスの車両火災事故

8月22日午後7時頃、長野県の高速度道路のパーキングエリア手前4kmにおいて、2階建ての貸切バスが走行中、当該バスの2階の室内灯より発煙しているのを、乗客からの連絡により乗務員が把握したため、パーキングエリアにて

緊急停車した。停車後、当該バスの乗務員は、乗客を避難させ、消防に連絡した。

この事故により、添乗員 1 名、乗客 5 名が病院に搬送され、このうち乗客 1 名が 1 週間の入院。

事故は、乗客が室内灯のスイッチを押したところ発火、車内に煙が充満した模様。

(4) 貸切バスが大型トレーラに追突した事故

8 月 2 3 日午前 3 時 1 0 分頃、静岡県的高速道路において、貸切バスが乗客 2 6 名を乗せ運行中、大型トレーラに追突した。

この事故により、当該バスの運転者と当該バスの乗客 2 名の計 3 名が重傷、残りの当該バスの乗客 2 4 名が軽傷を負った。

事故現場は、片側 2 車線のほぼ直線の道路で、当該バスが追越し車線から走行車線に戻ろうとしたところ、当該高速道路のバス停付近に停車していた大型トレーラが発進し、当該バスの直前に急に現れたため、当該バスが追突した模様。

当該バスは、三重県から千葉県に向かっていった模様。

(5) タクシー運転者が傷害を受けた事件

8 月 2 2 日午前 1 時 2 0 分頃、タクシー運転手が福島県内で乗客を乗せ、指示どおりの経路で目的地まで輸送し、運賃を請求したところ、乗客に運賃が高いと言われ、突如後ろから殴られ、ポケットから取り出したカッターナイフで切りつけられた。

その後、乗客は何も取らなかったが、運賃 4 , 5 5 0 円を支払わずに逃走した。

この事件により、当該タクシーの運転手が後頭部、頸部を打撲し、腕に 1 0 ヶ所、顔に 1 ヶ所の切り傷を負った。

なお、当該タクシーには、防犯用仕切板は設置されていた。

(6) タクシーがオートバイと衝突した事故

8 月 2 4 日午後 8 時 1 5 分頃、長崎県において、タクシーが空車にて営業所から右折して道路に出ようとしたところ、道路右側から走行してきたオートバイと衝突した。

この事故により、オートバイの運転者が死亡した。

事故現場は、片側 1 車線の見通しの良い直線道路で、事故当時、当該タクシーは、右折しようとして道路にタクシーの車体をはみ出し、オートバイの進路を塞ぐような状態で停車していた模様。

(7) タクシーが原付バイクと衝突した事故

8 月 2 5 日午後 4 時 4 0 分頃、東京都の信号機のない交差点において、タク

シーが2人乗りの原付バイクと衝突した。

この事故により、当該原付バイクに乗っていた1名が死亡、もう1名が重傷を負った。

当該事故は、当該原付バイクが、交差点の右方向から一時停止を無視して進入し、空車（迎車）にて運行中の当該タクシーの右側後方に衝突したものの。

（8）トラック運転者を救護義務違反の疑いで逮捕1

8月21日午後10時35分頃、栃木県の信号のある交差点において、トラックがバイクと衝突した。当該トラックの運転者は、負傷者を救護せずにそのまま現場を立ち去った。

この事故により、当該バイクの運転者が右足切断の重傷を負った。

当該トラックは、青信号で交差点を直進しようとしたところ、左側から当該バイクが信号無視で左折しようとして交差点に進入してきたため発生した模様。

当該トラックの運転者は、8月23日、警察に出頭し、自動車運転過失致傷と道路交通法違反（救護義務違反）の疑いで逮捕された。

（9）トラック運転者を救護義務違反の疑いで逮捕2

8月22日午前3時25分頃 群馬県の交差点において、トラックが車道にいた人を撥ねた。当該トラックの運転者は、負傷者を救護せずにそのまま現場を立ち去った。

この事故により、撥ねられた人は死亡した。

その後の警察の調べにより、当該トラックの運転者は、栃木県内において自動車運転過失致死と道路交通法違反（救護義務違反）の疑いで逮捕された。

当該運転者は、容疑を認めている模様。

（10）タンクローリーが停車中の乗用車に追突した事故

8月23日午後11時30分頃、大阪府の高速道路において、タンクローリーが道路左脇に停車していた乗用車に追突し、双方の車両が炎上（全焼）した。

この事故により、乗用車に乗っていた女性が死亡した。

なお、乗用車から降りて外に出ていた女性と当該タンクローリーの運転者に負傷はなし。

事故現場は、片側3車線の直線道路で、事故当時、追突された乗用車は、車両故障のため道路左脇に停車していた模様。

当該タンクローリーは、家庭用洗剤を約13トンを積載し、茨城県から和歌山県に向かっていた模様。

【メールマガジン「事業用自動車安全通信」】

発行 国土交通省自動車交通局安全政策課

*このメルマガについてのご意見は、<jiko-antai@mlit.go.jp>までお寄せ

ください。

よくある質問（配信登録の解除方法等）

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/faq.html> ）

自動車交通局ホームページ

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html> ）